

# 第一回定時総会

2011年5月26日

ハイアットリージェンシー東京

一般社団法人

日本マーケティングリサーチ協会

# 次第

---

議長選出

議事録署名人選出

報告事項

報告 一般社団法人への移行完了の件

報告 平成22年度事業報告の件

平成23年度事業方針の件

決議事項

第一号議案 平成22年度収支決算の件

第二号議案 役員を選任に関する件

# 定足数、議事録署名人、議長について

---

## ◆ 定足数

定款第18条 定足数は正会員社の過半数の出席  
(正会員社150社中 76社)

## ◆ 議長

定款第16条(議長) 会長 田下憲雄

## ◆ 議事録署名人

エスアンドエスアール株式会社 竹内 昭爾 氏  
株式会社プリサイズ 鈴木 雅之 氏

# 一般社団法人への移行完了

---

下記の通り、「社団法人日本マーケティング・リサーチ協会」から「一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会」への移行が完了致しましたので、ご報告いたします。

- 認可行政庁 内閣府
- 認可番号 府益担第2792号
- 法人コード A008359
- 法人の名称 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
- 旧法人の名称 社団法人日本マーケティング・リサーチ協会
- 旧主務官庁 経済産業省
- 認可日 2011年(平成23年)3月28日
- 登記日 2011年(平成23年)4月 1日

# 平成22年度(2010年度)事業報告(1)

## － 平成22年度(2010年度)の方針 －

### 基本方針

「アジアからの新たな風」と日本からの情報発信  
2010 APRC CONFERENCE TOKYOを成功させよう

### 重点課題

1. 2010 APRC CONFERENCE TOKYOの開催
2. 新綱領、ISO20252、コンプライアンス普及活動の推進
3. 産官学連携のいっそうの推進
4. 一般社団法人へのスムーズな移行

# 平成22年度(2010年度)事業報告(2)

## 1. 2010 APRC CONFERENCE TOKYO の開催

JMRAとしての初めての国際カンファレンスは、各委員会の連携のもと、総力をあげて取り組み、盛会の内に終えることができた

名称:「2010 JMRAアニュアル・カンファレンス & 第2回APRCカンファレンス東京」

会場:Westin東京

日時:2010年11月25日(木)、26日(金)

参加者:合計535名(国内395名、海外75名[13カ国]、スタッフ65名)

カンファレンス委員会	企画・運営
国際委員会	APRC加盟国との連携、海外参加者対応
調査技術研究部会	5カ国共同調査の実施、発表
出版委員会	国際関連記事の出版
会員社	スポンサー、プレゼンター、コーディネーターなど

会員の皆様の絶大なるご協力に感謝申し上げます

# 平成22年度(2010年度)事業報告(3)

## APRC加盟国の増加

2005年:CJK Network 3カ国(日本、中国、韓国)

2009年:APRC設立 4カ国(+オーストラリア)

2010年:8カ国に拡大(+タイ、シンガポール、マレーシア、台湾)

今後もアジアのリサーチ業界のリーダーとしての自覚を持って、APRCの活動に取り組んでいきます。

今年は10月11日、12日、中国西安で開催予定です。6月にはConference参加&西安視察のツアー募集を行います。奮ってご参加ください。

# 平成22年度(2010年度)事業報告(4)

---

## 2. 新綱領、ISO20252、コンプライアンス普及活動の推進

情報にかかわる産業は、国や業界を越えた再編が始まっている。リサーチ産業の基本を堅持しながら、環境変化に対しても積極的に対応していく必要がある

### ◆ ISO20252の第三者認証をスタート

2011年3月末までに会員社4社(株式会社インテージ、株式会社サーベイリサーチセンター、株式会社日本リサーチセンター、株式会社インテージリサーチ)が認証取得

### ◆ 法務ハンドブックⅢの改訂版を作成

綱領委員会とともに説明会を開催

# 平成22年度(2010年度)事業報告(5)

---

## 3. 産官学連携のいっそうの推進

### ◆ 産官の新しいパートナーシップの確立に向けて

公的統計の民間開放の受け皿作りに向けた公的統計基盤整備委員会の精力的な活動により、官におけるJMRAのプレゼンスは飛躍的に向上

### ◆ 産、学との連携も持続的な情報発信活動により、確実に前進している

- 『マーケティング・リサーチャー』誌への寄稿
- カンファレンス、各種セミナーにおける講演など
- 研修委員会と出版委員会のコラボレーションは、参加者にも好評

# 平成22年度(2010年度)事業報告(6)

---

## 4. 一般社団法人へのスムーズな移行

2010年5月の通常総会と2011年1月の臨時総会で移行に伴う定款変更の決議し、目論見どおり、2011年4月1日より、一般社団法人として、新たにスタート

今年度の総会以降、理事会と業務執行委員会という二重の執行体制を解消し、より機動的な協会運営ができるものと期待

## 5. より円滑な事務局活動の推進

協会活動の情報を広く発信するために電子メールを利用したメールニュースの発行、twitterによる情報発信などの新しい試みを開始した  
メールニュースの登録は開始から半年で800件以上となった

# 平成23年度(2011年度)事業方針について

## － 平成23年度(2011年度)の方針 －

### 基本方針

総会後の「事業計画プレゼンテーション」で、詳細にご説明いたします

### 重点課題

1. 環境変化に対応した積極的な情報発信活動の継続
2. 産官学と連携した研究活動の推進
3. ISO20252の普及と新たなリサーチ規範の模索
4. 「危機」に対応する事務局活動の推進

---

第一号議案

# 平成22(2010)年度収支決算の件

---

# 平成22(2010)年度収支計算書(1)

## 収入の部

(単位:万円)

	<u>予算額</u>	<u>決算額</u>	<u>増減</u>
会費収入	8,200	8,281	▲ 81
事業収入	7,961	7,312	649
雑収入	50	2	48
投資活動収入	0	140	▲ 140
当期収入合計	16,211	15,735	476
前期繰越収支差額	1,090	1,090	0
収入合計	17,301	16,825	476

# 平成22(2010)年度収支計算書(2)

## 支出の部

(単位:万円)

	予算額	決算額	増減
事業費	12,475	12,181	294
管理費	3,596	3,648	▲ 52
積立金	30	10	20
予備費	100	0	100
投資活動支出	0	0	0
当期支出合計	16,201	15,839	362
当期収支差額	10	▲ 104	▲ 113
次期繰越収支差額	1,100	987	▲ 113

---

第二号議案

# 役員の選任に関する件

---

# 理事、監事立候補者(50音順)

## ◆ 理事

池谷 雄二郎 (株)トーク・アイ  
鈴木 稲博 (株)日本リサーチセンター  
鈴木 芳雄 (株)ビデオリサーチ  
中澤 勝 (株)東京サーベイ・リサーチ  
福田 徹 (株)電通リサーチ  
牧田 孝 (株)社会情報サービス

小西 克己 (株)マクロミル  
鈴木 督久 (株)日経リサーチ  
田下 憲雄 (株)インテージ  
平野 享一 GfKカスタムリサーチジャパン(株)  
藤沢 昌樹 (株)サーベイリサーチセンター  
山田 勇夫 (株)アダムスコミュニケーション

### (外部理事)

槐 早苗 元(株)雪印乳業  
新保 史生 慶応義塾大学

島崎 哲彦 東洋大学

## ◆ 監事

五十嵐 幹 (株)クロス・マーケティング

村上 智人(株)綜研情報工業

# 事務局からお知らせ

---

◆引き続き、休憩の後、本会場で

## 新JMRA事業計画プレゼンテーション

を開催し、各委員会の活動について報告いたします。  
ぜひ、ご参加くださいますようお願いいたします。  
(受付は午後2時45分からとなります。)

◆午後4時30分からは、会場「平安」で、

## 情報交流会

を開催します。どうぞ最後まで、お付き合いください。